

# 連合長野【10月】



2012.10.1  
No.342

発行/日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
発行人/根橋 美津人

〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F TEL 026-234-1626 FAX 234-1349  
E-mail info@rengo-nagano.jp http://www.rengo-nagano.jp/

連合沖繩・仲村会長をお招きし  
2012 連合長野平和行動「平和を考える集い」を開催  
沖繩の歴史、米軍基地問題・  
オスプレイ配備問題など理解を深める!!

## 日本への復帰から40年! 全国の米軍基地の74%が未だに沖繩に集中!! 沖繩の青い空と青い海は沖繩県民のもの!

2012連合長野「平和を考える集い」を9月12日(水)開催し、講師には連合沖繩・仲村会長を招き、連合長野三役・執行委員、構成組織・地協代表者ら約70名が参加しました。

連合長野は平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動、北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動などに取り組んでいます。そのため、6月～9月を平和行動月間として位置づけ、[1]6月沖繩、[2]8月広島、長崎、[3]9月根室での平和行動を基本に、連合長野としても各地協の平和集いに共催した形で取り組みを行ってきました。

しかし、ここ数年は事務局のみの参加に留まっており、全体への波及もなく形骸化している状況にあります。こうした反省から、役員みずからが現状を知り、

今後の平和運動のあり方などについて考えあう機会として「平和を考える集い」を開催しました。

仲村会長からは、本土復帰40周年に対する思いや、これまでの連合の取り組みなど報告をいただきました。また、沖繩戦など沖繩の歴史や米軍基地の74%が集中しているが故に起こる事件・事故による県民の生活が脅かされている状況、オスプレイの配備など様々な問題について触れられました。

参加者たちは、改めて沖繩戦の悲惨さと平和の尊さを学び、1日も早い米軍基地の整理縮小と日米地位協定の抜本的見直しの必要性について理解を深める場となりました。



講演する仲村沖繩会長



「平和を考える集い」集会の模様

### ATM利用手数料還元サービス

〈長野ろうきん〉  
カードなら  
ひと月に  
何回使っても、  
どこで使っても

お引出し  
手数料

# 0

円

実質

※一部利用できない金融機関、コンビニがございます。

### 『お引出し』はお近くのATMで >>>

- セブン銀行・イオン銀行は、お引出し手数料が無料でご利用いただけます。  
※セブン銀行は午後7時から午後11時まではお引出し手数料がかかりますが、翌月25日(非営業日の場合はその翌営業日)にお客様の普通預金(貯蓄預金)口座に全額キャッシュバックいたします。
- 都銀・地銀・信金・信組・JAなどMICS加盟の提携金融機関やゆうちょ銀行、さらにコンビニのATM・CDを利用してお引出しされた場合の手数料も、全額キャッシュバックの対象になります。  
※長野ろうきんのキャッシュカード(普通預金・貯蓄預金)、ローンカードが対象となります。  
※手数料が210円の場合でも、210円のキャッシュバックとなります。  
※ご利用後、翌月のご入金日までに口座解約された場合は、キャッシュバックいたしませんのでご了承ください。  
※サービスの詳細はホームページ等でご確認ください。



2012年9月25日現在



詳しくは(ろうきん)各営業店にお問合わせください。インターネットでも(ろうきん)の情報がご覧いただけます。



<http://www.nagano-rokin.co.jp/>

長野ろうきん

検索

## 四島が返る その日まで!!

日本の領土問題の原点である北方四島返還運動の継続を。

.....

連合長野から櫻井団長のもと13名が「2012平和行動in根室」に9月7日～10日の日程で参加した。

8日に学習会が開催された「北方四島交流センター」は、北方領土の歴史や、日本とロシアの今の姿、人々の生活などが解説された展示室や北方四島に関する写真、地図などが展示された北方資料室の他、日本とロシアそれぞれの文化ルーム等があり、日本(ニ)とロシア(ロ)をつなぐ北海道(ホ)の施設で、「ニ・ホ・ロ」と呼ばれている。

学習会の第1セミナーは元島民から「ふるさと北方四島への思い」を、第2セミナーは北方領土返還要求運動連絡協議会から「北方領土の現状と問題点」を、第3セミナーは連合北海道釧根地協より「北方領土の日本家屋」を、第4セミナーは毎日新聞記者より「北方四島の自然と諸問題」を、第5セミナーはロシア料理家から「ロシア風水餃子づくり」について分かれて学習した。

翌9日は、納沙布岬にて「2012平和ノサップ集

会」が開催された。当日は濃霧のため四島は望めず、四島を巡る現状を表しているかのようであった。古賀連合会長からは、「参加者の皆さんが語り部となって語り伝えていってもらいたい。北方領土返還が実現するまで、これからも北方返還運動を続けていく」との言葉があった。

集会終了後、歯舞漁港に会場を移し「ねむろ水産フェスタ」に参加したが、帰る時間になると霧が晴れたため連合長野の訪問団だけ再び納沙布岬に足を運んだ。眼前に貝殻島や水晶島を見ることができただけでなく、ロシアの監視船と日本の監視船も見え、日露の緊張感を垣間見ることができた。

自分も一人の「語り部」として四島に現状と元島民の思いを強く伝えていかなければならないと感じた根室訪問となった。

戸井田学久(連合長野事務局)



連合古賀会長を囲んで



四島返還の署名をする参加メンバー

ZENROSAI NEWS

50周年  
全労済 長野県本部

僕は、  
こくみん共済。

安心して生きていく。自分も、家族も。

### こくみん共済

個人型厚生年金・こくみん共済年金・国民年金・国民健康保険・国民生活年金・国民年金基金

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ここに記されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご確認ください。

**保障のこなら  
全労済**  
全国労働者共済生活協同組合連合会



## 韓国による不法占拠が続く 日本固有の領土“竹島” 政府は国家として毅然とした態度で、 冷静かつ粘り強く問題解決を!!



挨拶する中国ブロック代表幹事 伊丹連合広島会長

連合中国ブロック連絡会主催の、第6回「竹島の領土権確立を求める集いin松江」が、8月31日(金)開催されました。この集会は、2007年8月に中国ブロック、島根県及び隠岐の島町等で実行委員会を結成し毎年開催していますが、今年は初めて全国の地方連合会に参加を呼びかけ、40都道府県連合会から約220名の参加がありました。

冒頭、主催者を代表して、中国ブロック連絡会代表幹事の伊丹連合広島会長から、「竹島は日韓両国が領有権を主張し深刻な問題になっている。私たちは竹島の歴史や現状を学び、正しい認識を持って『竹島の領土権確立』に向けた世論喚起をはからなければならない」とあいさつがされた。

続いて来賓からの挨拶後、島根県総務部・山崎監理監より「竹島問題と島根県の取り組み」について報告があり、『国民世論の後押しが重要』と強調されました。

また、島根県竹島問題研究会の佐々木副座長より「竹島問題から学ぶ」と題した基調講演では、歴史から見る日本と韓国の主張点の違いなど説明があり、『竹島問題についての国の学校教育の必要性』について訴えがありました。

連合島根では、1991年の発足以来、領土権確立に向け、街宣行動や署名活動を中心に取り組んでこられました。また「北方領土返還要求全国集会」でも街宣行動・特別報告も行ってきています。

領土問題は国家間の問題であり、外交努力により平和的に解決されるのが望ましく、我々としてもこのような問題解決に向けては、歴史を正しく学んだ上で議論を進めていくのが重要であります。

最後に、政府に対し、①竹島問題を所管する国組織の設置、②国民世論が得られるような広報活動の取り組み協化、③竹島問題の早期解決に向けた外交交渉を進める、などを求める「集会アピール」を参加者全員で採択し閉会しました。



全体集会の様相

### 復興支援・住宅版エコポイント

## エコリフォームは今がチャンス!

## 後付樹脂サッシを特別価格で提供

労働組合特別価格  
定価の **35%OFF**

※取付費は別途かかります。



2012年10月31日まで  
※詳しい内容につきましてはご連絡下さい。



長野県労働者住宅生活協同組合  
〒380-0838 長野市別所523番地 ちゅうきんビル7F

☎ 026-234-0283  
Fax 026-234-0271

# 連合長野の皆さんありがとうございました!!

## たくさんの方の“ありがとう”が届いています!

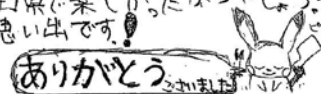
「被災地の子どもたちを長野県へ招待しリフレッシュしてもらいたい…」

そんな想いから始まった、「子どもリフレッシュ募金」。昨年多くの県民の皆様・連合長野の皆様からご協力をいただき、当初の目標である1,000万円を大きく上回る2,500万円余りが集まりました。その募金を活用し、昨年・今年の夏、各地で様々な子どもリフレッシュ交流事業が実施され、これまでに45事業、のべ1,363人の被災地の子どもたちを長野県へ招待することができました。交流事業に参加した子どもたちより、たくさんの方の「ありがとう」の声が届きましたので、皆様にもお届けしたくご報告を兼ね、お知らせさせていただきます。



皆さんの思い出をありがとうございました。今げんきでたくさんの方が元気をなくしていました。そんな時、長野のみなさんがごほうびたいしてくれました。うれしかったです。そして長野で初めて知ったこと、びっくりしたことおもしろいこと、楽しかったことをまっさかしました。初めてあった人たちとも、仲良くなって友達になることができました。心は、ずかてみなさんのおかげです。長野のみなさんこの思い出は忘れません。ぜひ、本当にありがとうございました。

長野県でお世話になりました。とても楽しかったです。伊達市で遊べないということで、ストレスがありました。だけど長野県の人達のおかげでストレスをはさんですることができました。は、さんしたたけでなく、心がきれいです。ありがとうございます。伊達市にもってくると、いきには、ひまになりました。長野県を楽しくたから、長野県に行ったことは、一生の思い出です!



伊達市では放射能のため外ではなかなか遊べませんでした。たがこの信州サマーキャンプでたくさん遊ぶことができました。このような機会を作って下さりありがとうございました。ぼくたちも放射能に負けずにかんぱりたいです。

私たちは今、原子力発電所の事故で、長そでひ外出したり、外で遊ぶことがダメになっています。私はそれでストレスがたま、ていたりしました。けれど、長野のサマーキャンプで、ひろひろと遊べたり、半そでひられることかどれだけ幸せかがわかりました。知らない人ともしゃべり、みんなを笑い合ったり、元気づく遊んだりする場所をつくられたこと本当にありがとうございました。

長野県のみなさん、原発の問題が、あつ、ぼくたちにいろいろな体験をさせていただき、ありがとうございました。このサマーキャンプのおかげで、太陽の下でのい、のい、と遊べて、とても楽しかったです。久しぶりにプールで泳げ、とてもうれしかったです。本当に楽しかったです。ありがとうございました。

放射性物質で困っているぼくたちのために、この楽しいサマーキャンプを作ってくれてありがとうございました。大人になったらいつか、お返ししたいと思います。

子どもリフレッシュ募金にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。

子どもリフレッシュ事業助成委員会

<http://nagano-kodomo-support.net/> [refresh@nagano-kodomo-support.net/](mailto:refresh@nagano-kodomo-support.net/)